教材研究ノート№2-A-13

≪学習問題≫

あめの入った袋が3袋あります。

1つの袋にあめが6こずつ入って

います。

あめは全部で何個になるでしょうか。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・本単元で，2，3，4，5の段の九九を学習している。

・九九は累加で求められることを理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・全部の数を求めるには「何個のいくつ分」で考えればよいことを学習している。

○共同追究でのゆさぶり

・基準量があとに示される文章題を解決する経験は初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・単位をつけて，何を求めているのかを考える学習をしている。



②見通し:どちらがかける数でどちらがかけられる数か分からない。

→求める式は「何個のいくつ分」にして考えればよさそうだ。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

②学習課題:何個のいくつ分を考えて，式は3×6になるのか6×3になるのかを，図をかいて考えよう。

③個人追究:絵図をかいて，3×6か6×3かを説明する。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「かかれた絵図を見て，考えの違いは何だろう？」

→「3×6は3個の6袋分，6×3は6個の3袋分という意味。」

④共同追究後半（思考を深める）

「同じ18になるのだから，どちらでもよいのではないのか？」

→「6×3＝18は6個の3袋分で18個，3×6＝18は3袋の6個分で18袋となる。」

「順番を逆にすると，単位がおかしくなってしまう。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・問題文にでてくる順番が逆になっていても，全部の数は「個数のいくつ分」で求めることができる。

・逆に計算すると，求めるものが違ってしまう。

⑥定着･活用問題

ひろし君は，問題をよんで次のような式をつくりました。どのような問題でしょうか。

問題をつくりましょう。

1. 5×4＝20　　答え　20個
2. 3×7＝21　　答え　21cm

**MCj01994340000[1]**

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・数図ブロックを操作したり，図をかいたりして考える算数的活動を十分行い，どれが基準量でどれがそのいくつ分にあたる量なのかをしっかり考えさせたい。

・共同追究では，これまでの問題と比較して示された順序の違いを見つけたり，かけ算の用いられる場面や式の意味を確認したりすることで，「基準量のいくつ分」に焦点が当たるようにする。

【板書計画】